

自民「裏金議員」 反省皆無！

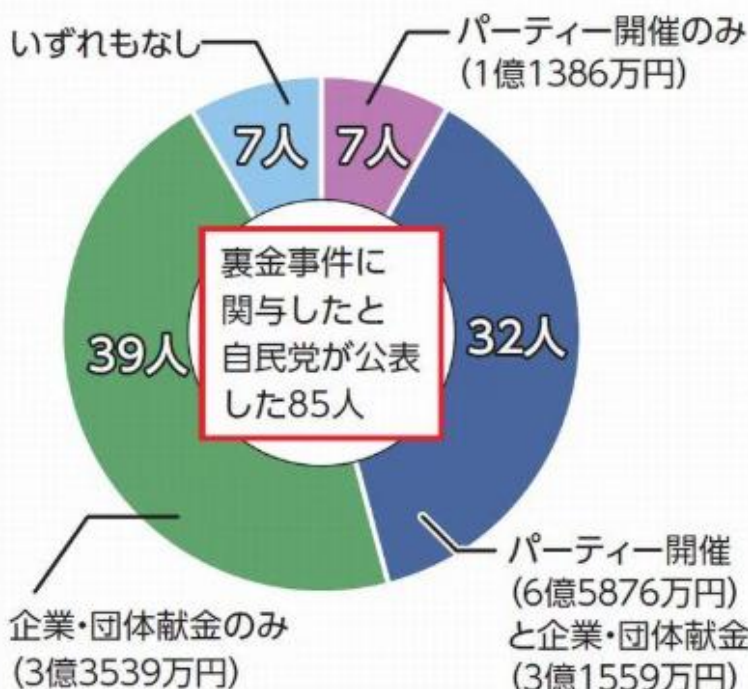
豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel：三四・四七二
毎週一回発行

パーティー収入の大半は
形を変えた企業・団体献金

自民党派閥の政治資金パーティーを巡る裏金事件に関与したとして、同党が2024年2月に公表した当時の衆参両院の裏金議員・党選挙区支部長85人のうち4割超に当たる39人の国会議員関係政治団体が同年にパーティーを開き、総額7億7262万円の収入を得ていたことが本紙の調べでわかりました。同年2月末からは裏金議員に弁明を求め真相究明する政治倫理審査会（政倫審）が国会で開始。裏金づくりの舞台となったパーティーを反省することなく、平然と開き続けていた形です。

政治資金パーティー開催と企業・団体献金集め



昨年中に公表された総務省届け出と都道府県選挙管理委員会届け出の24年分の政治資金収支報告書のうち85人（衆参現職40人、24年・25年の衆参選挙の落選・不出馬45人）の250の国会議員関係政治団体を調べました。

それによると、パーティー開催は現職19人、落選・不出馬20人。収入最多は、旧二階派事務総長で落選した武田良太元総務相（福岡11区）の1億3721万円（24年3、9、12各月開催）。離党勧告を受け参院から衆院選に出馬し当選した旧安倍派の世耕弘成元参院幹事長（和歌山2区）の6345万円（同6、8、12各月開催）が続きました。関与について弁明した24年12月18日に東京都内でパーティーを開きました。

パーティー収入の大半は、企業・団体によるパーティー券購入費。形を変えた企業・団体献金です。党政調副会長の田畑裕明衆院議員（富山1区）は、24年6月開催予定のパーティーの案内状に「ご入金

のみ」の選択肢を設け、寄付にあたるものが問題視され開催を中止。2万円超のパーティー券購入者156団体・個人に返金したうち147は企業・業界団体、業界でつくる政治団体でした。85人のうち企業・団体献金は8割に当たる71人（現職32人、落選・不出馬39人）が自ら代表を務める政党支部で総額6億5098万円を集めました。最多は旧安倍派幹部の萩生田光一幹事長代行（東京24区）の6238万円。パーティー収入と企業・団体献金をともに得ていたのは85人中32人（現職14人、落選・不出馬18人）、いずれもなかったのはわずか7人でした。自民党が裏金問題にまったく無反省であることが浮き彫りになりました。（しんぶん赤旗より抜粋）

また、日本維新の会が、自民党との連立の政策協議の中で「政治改革」の課題として「国会議員の1割削減」を打ち出し、論点を「企業・団体献金の禁止」から「議員定数の削減」にずらして棚上げしたことに厳しい批判が必要です。

原発
ゼロ

データを捏造して原発の最稼働 なんて許せん！！

中電に抗議を入れた申し入れ行動をおこないます

1月19日(月)午後1時30分～ 短時間です

中部電力豊田営業所前に集合。抗議のスタンディング。

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会

名古屋本社でも
同日行動

12月定例市議会では、市長からの62件の議案に対し、根本みはる市議は、このうち7議案に反対、他の55議案（約89%）、請願1件、同意1件に賛成しました。主な議案についての各会派の賛否（○×）は表のとおり。根本市議がおこなった反対および賛成討論の概要は以下のとおりです。	共産党 根本みはる市議	自民クラブ	市民フォーラム（国民）	公明党市議団	新しい風とよた
豊田市議会議員と市長などの特別職の期末手当を増額する条例……議員の期末手当は総額212万円余もの増額。現在の景気動向調査では、『「愛知」の景気動向指数DIは、前月から0.5ポイント下落の43.5と、横ばいを挟んで5カ月ぶりに悪化。「大企業」は3カ月ぶりに改善となった一方、「中小企業」は前月から0.6ポイント、「小規模企業」は同1.6ポイント悪化した。先行き見通しDIでは「6カ月後」は44.8で同1.3ポイント悪化、「1年後」は45.9で同1.3ポイント悪化とし、先行き不安感が高まっている。』としている。この状況下で市民の理解は得られず、反対。	×	○	○	○	×
豊松こども園を廃止する条例（保育所条例の改定）…近隣の松平こども園の待機児童数の状況は、令和6年度の年度途中の待機児童数は、0歳児から2歳児が11人、3歳児から5歳児が3人。令和7年度の年度途中の待機児童数は、令和7年12月1日現在、0歳児から2歳児が5人で、松平こども園に入園申し込みをしたが、空きがなく、8名は育休の延長をされている状況。 松平地域における保育ニーズがある中で、豊松こども園を廃止とする条例には反対。	×	○	○	○	○
令和6年度豊田市一般会計補正予算… 補正予算のうち、こども園・学校の給食材料費の物価高騰に伴う増額補正、地域体育館等空調設備整備事業など、必要な補正内容があるものの、議員および特別職の期末手当の増額については、条例改定に伴い反対。	×	○	○	○	○
豊田市教育行政計画の策定…インクルーシブ教育の推進、地域の教育資源を活用しながら連携・協働する取り組みは、学校以外の人材の育成・活用が必要。本計画の基本方針で目指す教育の姿が、子どもたちの豊かな学びと、つながりの中で成長しあうことの土台となることを期待し、賛成。	○	○	○	○	○
子ども誰でも通園制度の条例化…子どもが毎日通う通常保育と異なり、月10時間までという短時間の利用枠の中で、支援をおこなうことになるため、保育士が子どものその日の状況の把握をし、対応するには、職員配置基準は不十分。 医療的ケアなど特に配慮が必要な子どもの受入れについては、準備や体制が必要として、受入れ可能かどうかを検討している段階であること、また、国が定めた制度上、保育士は「正規・常勤」としておらず、配置する有資格者も半数以上の配置であればよいとされていることから、「職員2名のうち1名が無資格の職員配置となる場合もある」との認識は、通常保育からもかけ離れており問題。子ども誰でも通園制度については、国が「見切り発車」で始めて、多くの課題があるとの専門家の指摘の中であり、条例化は反対。 保育士との安定した関係が築ける通常の保育のさらなる充実と、保育士の確保で質の向上を計るべき。	× 反対討論	○ 討論無し	○ 討論無し	○ 討論無し	○ 賛成討論

日本共産党豊田市議団へのメールは、ホームページからお送りください



--	--	--	--	--